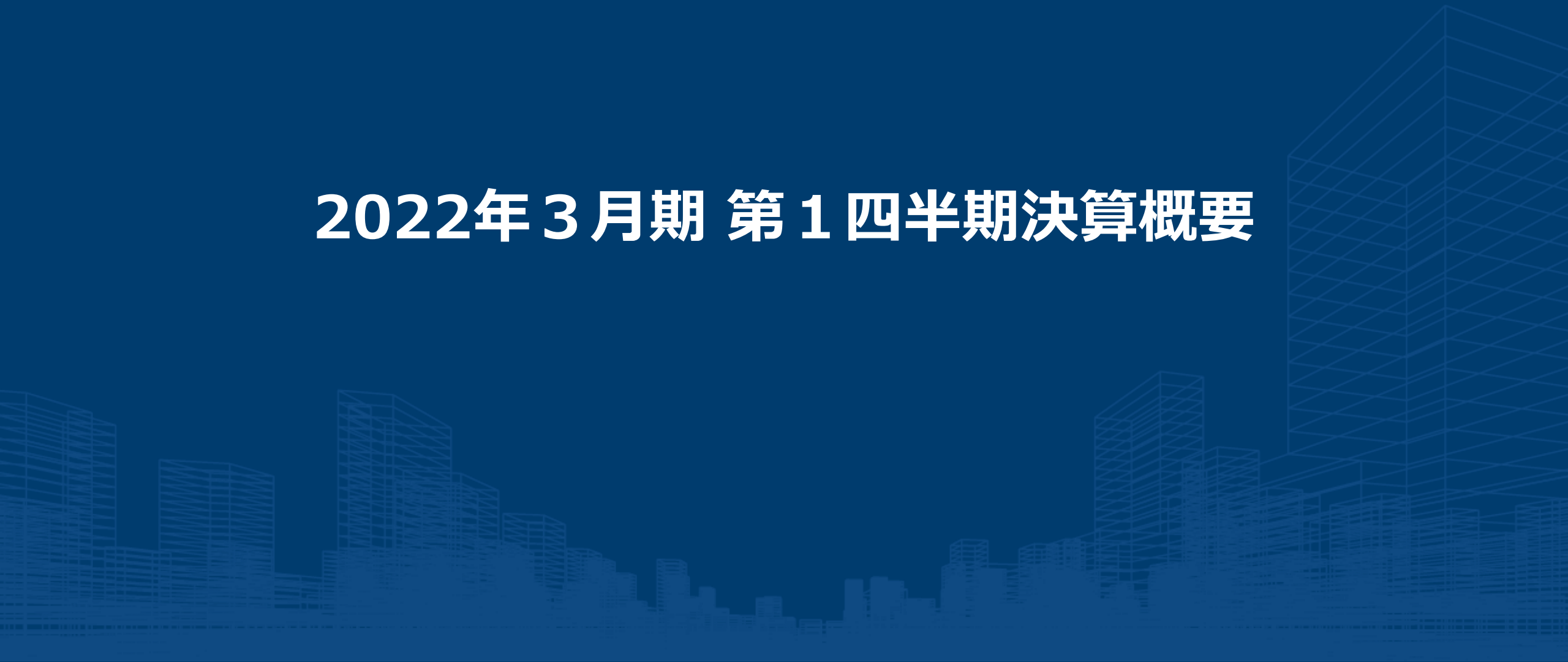


株式会社ラック

2022年3月期 第1四半期決算説明資料

2021年8月5日

2022年3月期 第1四半期決算概要



セキュリティ事業がけん引し増収
販売体制の強化等を進めながらも経費抑制等もあり、営業利益、経常利益が改善
子会社株式売却益の計上により四半期純利益も改善

（百万円）

科目	'21年3月期 1Q累計実績	'22年3月期 1Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	9,186	9,913	+726	+7.9
営業利益	△316	△226	+89	-
営業利益率%	△3.4	△2.3	+1.2p	-
経常利益	△349	△208	+140	-
経常利益率%	△3.8	△2.1	+1.7p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△210	△19	+191	-

（注）1. 子会社株式売却益219百万円を特別利益として計上しています。

2. 当社グループの事業の特徴として、特にセキュリティ事業の売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第1四半期連結累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

セキュリティ事業は大幅に増収・増益、SI事業は増収ながらも減益

（百万円）

売上高	'21年3月期 1Q累計実績	'22年3月期 1Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	3,704	4,425	+721	+19.5
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	5,482	5,488	+5	+0.1
合計	9,186	9,913	+726	+7.9

セグメント利益	'21年3月期 1Q累計実績	'22年3月期 1Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	55	208	+152	+273.0
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	587	507	△79	△13.5
合計	643	715	+72	+11.3

全社共通費用	△959	△942	+16	-
--------	------	------	-----	---

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

サービス、製品販売の伸長により大幅に増収、収益性の改善等もあり大幅増益

売上高

コンサルティングサービス

企業に対するサイバー攻撃が依然として猛威を振うなか、緊急対応サービスが大きく伸長

診断サービス

IoTセキュリティ診断サービスが拡大するとともに、Webアプリ診断やプラットフォーム診断が堅調に推移

運用監視サービス

子会社ラックサイバーリンクにおける人材派遣ビジネスの戦略的縮小による売上減があったものの、運用監視サービスの既存案件および新規導入案件の進捗が堅調に推移

製品販売

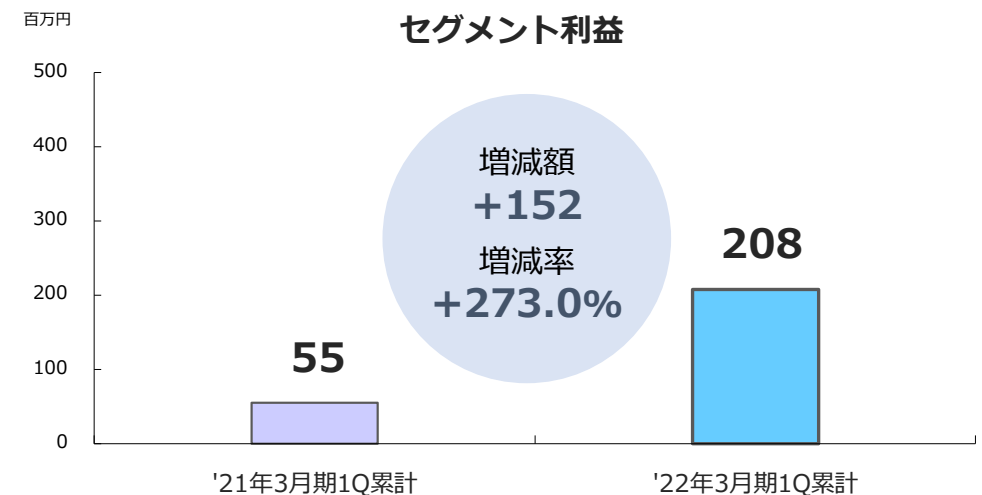
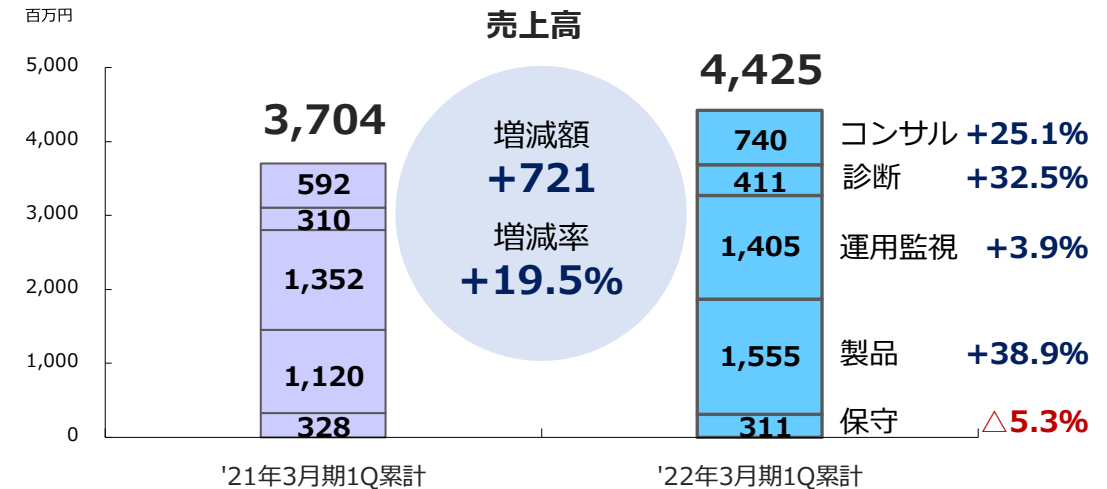
エンドポイント対策およびサービス妨害型攻撃にも対応したWebセキュリティ対策をはじめとするクラウド対応製品などが拡大

保守サービス

クラウド対応製品の拡大に伴い既存案件が減少

セグメント利益

収益性の改善等もあり利益も大幅増益



他の減収をソリューションがカバーし微増収、I T 保守の減収影響等により減益

売上高

開発サービス

大手銀行向け案件の減少や大型案件の終息などの影響はあったもののサービス業向け案件を中心に伸長し増収

HW／SW（ハードウェア・ソフトウェア）販売

クラウドサービスの拡大等で需要は縮小しており、更新案件が減少

I T 保守サービス

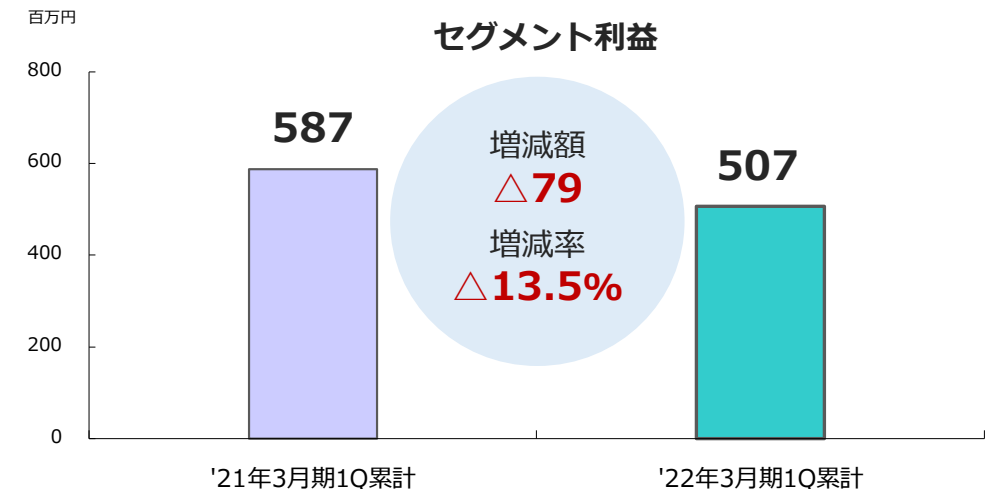
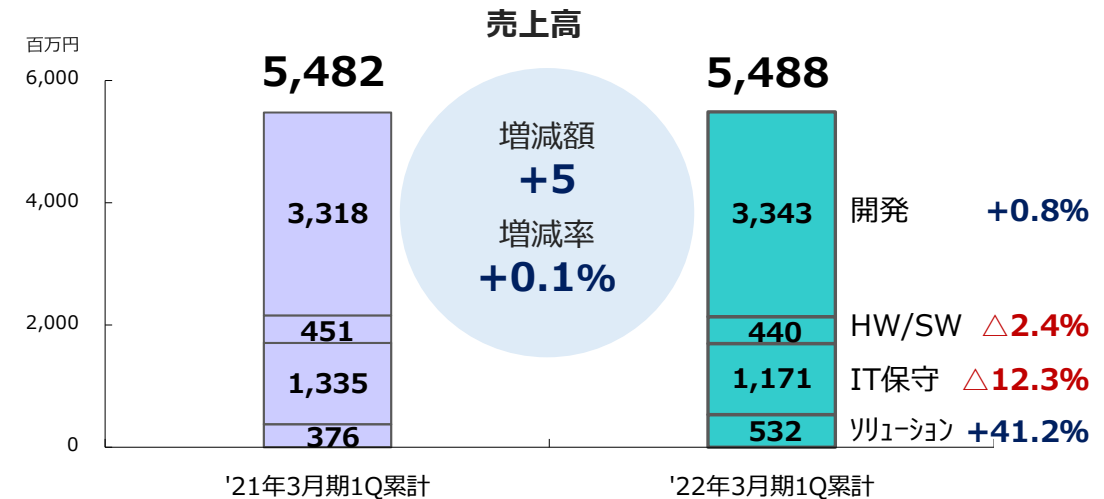
HW／SW関連の保守契約において、前年同期は大型案件があったものの当四半期は同様の案件がなく、他の更新案件も減少

ソリューションサービス

マルチクラウド開発管理などクラウド関連のソリューション販売が好調に推移

セグメント利益

I T 保守サービスの減収や受注体制強化のための販売費増加等の影響で減益



十分な手元資金を継続保持しつつ、安定した財務基盤を維持

（百万円）

科目	‘21年3月期末	‘22年3月期 1Q末	前期末比 増減
資産合計	24,626	22,469	△2,157
流動資産	16,349	13,441	△2,907
固定資産	8,277	9,027	+750
負債合計	12,965	10,424	△2,541
流動負債	10,032	7,994	△2,038
固定負債	2,933	2,430	△502
純資産合計	11,661	12,044	+383
現預金	6,367	6,380	+12
有利子負債	4,843	4,168	△675
自己資本比率	47.3%	53.6%	+6.3p

増減ポイント

資産

【流動資産】

受取手形、売掛金及び契約資産の減少 **△3,075**

【固定資産】

投資その他の資産「その他」に含まれる投資有価証券の増加 **+1,066**

負債

【流動負債】

買掛金の減少 **△1,069**
 その他に含まれる未払金の減少 **△642**

【固定負債】

長期借入金の減少 **△666**

純資産

【純資産】

利益剰余金の減少 **△355**
 その他有価証券評価差額金の増加 **+738**

2022年3月期 連結業績予想

(2021年5月12日発表から変更ありません)



売上伸長を見込むものの、基幹システム刷新等のIT投資や 販売・管理費の増加などにより営業利益は前期並となる予想 当期純利益は大幅増益の予想

（百万円）

科目	'21年3月期 通期実績	'22年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	43,693	47,200	+3,506	+8.0
営業利益	2,117	2,100	△17	△0.8
営業利益率%	4.8	4.4	△0.4p	-
経常利益	2,242	2,075	△167	△7.4
経常利益率%	5.1	4.4	△0.7p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	304	1,390	+1,085	+356.1
自己資本当期純利益率(ROE)%	2.6	11.2	+8.6p	-

（注）前期比で社内IT投資は約3.5億円増加する見込みです。

セキュリティ事業は増収かつ大幅増益、SI事業は増収も利益は微減 基幹システムの社内IT投資などにより全社共通費用は増加

（百万円）

売上高	'21年3月期 通期実績	'22年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	18,659	20,500	+1,840	+9.9
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	25,033	26,700	+1,666	+6.7
合計	43,693	47,200	+3,506	+8.0

セグメント利益	'21年3月期 通期実績	'22年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	2,541	3,400	+858	+33.8
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	3,172	3,100	△72	△2.3
合計	5,714	6,500	+785	+13.7

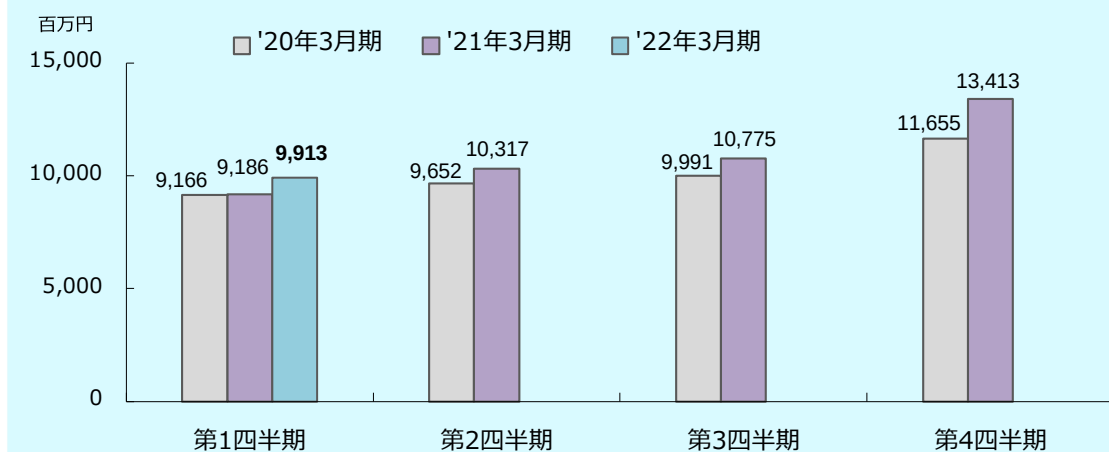
全社共通費用	△3,597	△4,400	△802	-
--------	--------	--------	------	---

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

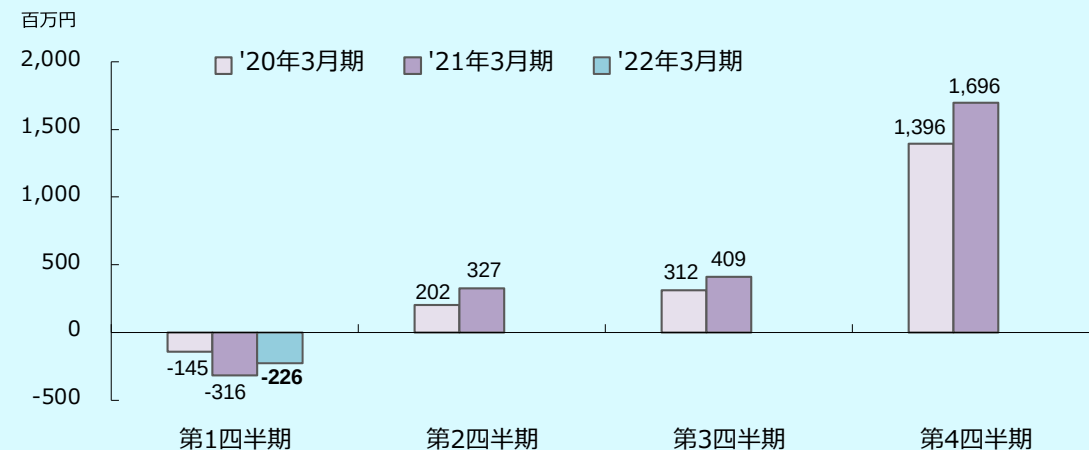
補足資料



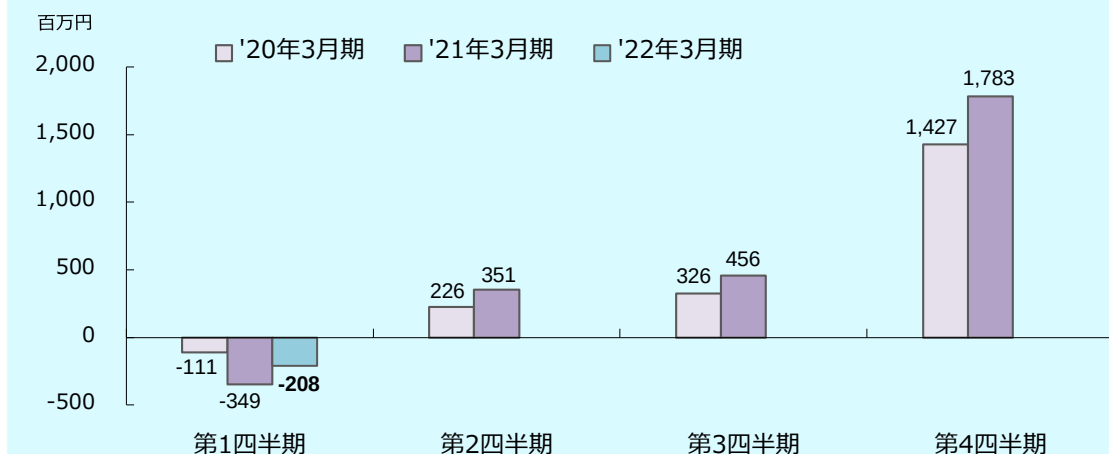
売上高



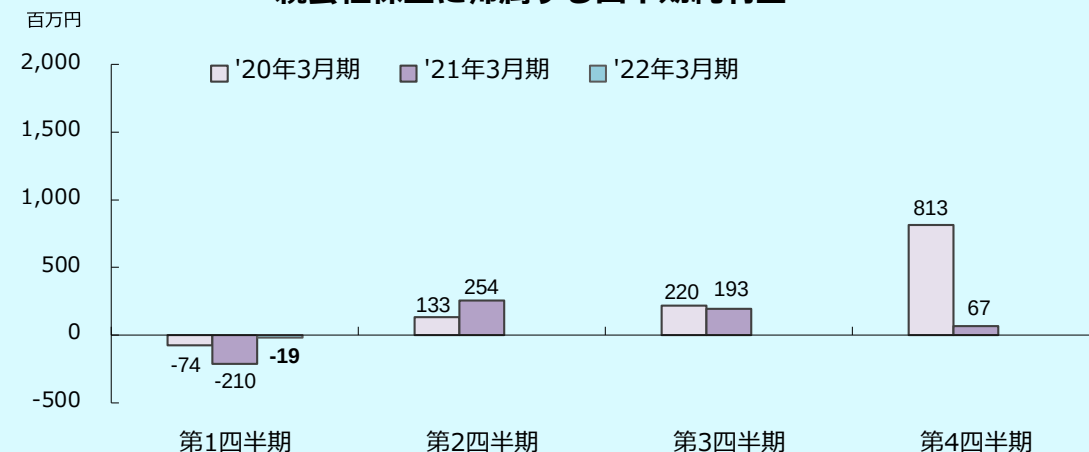
営業利益

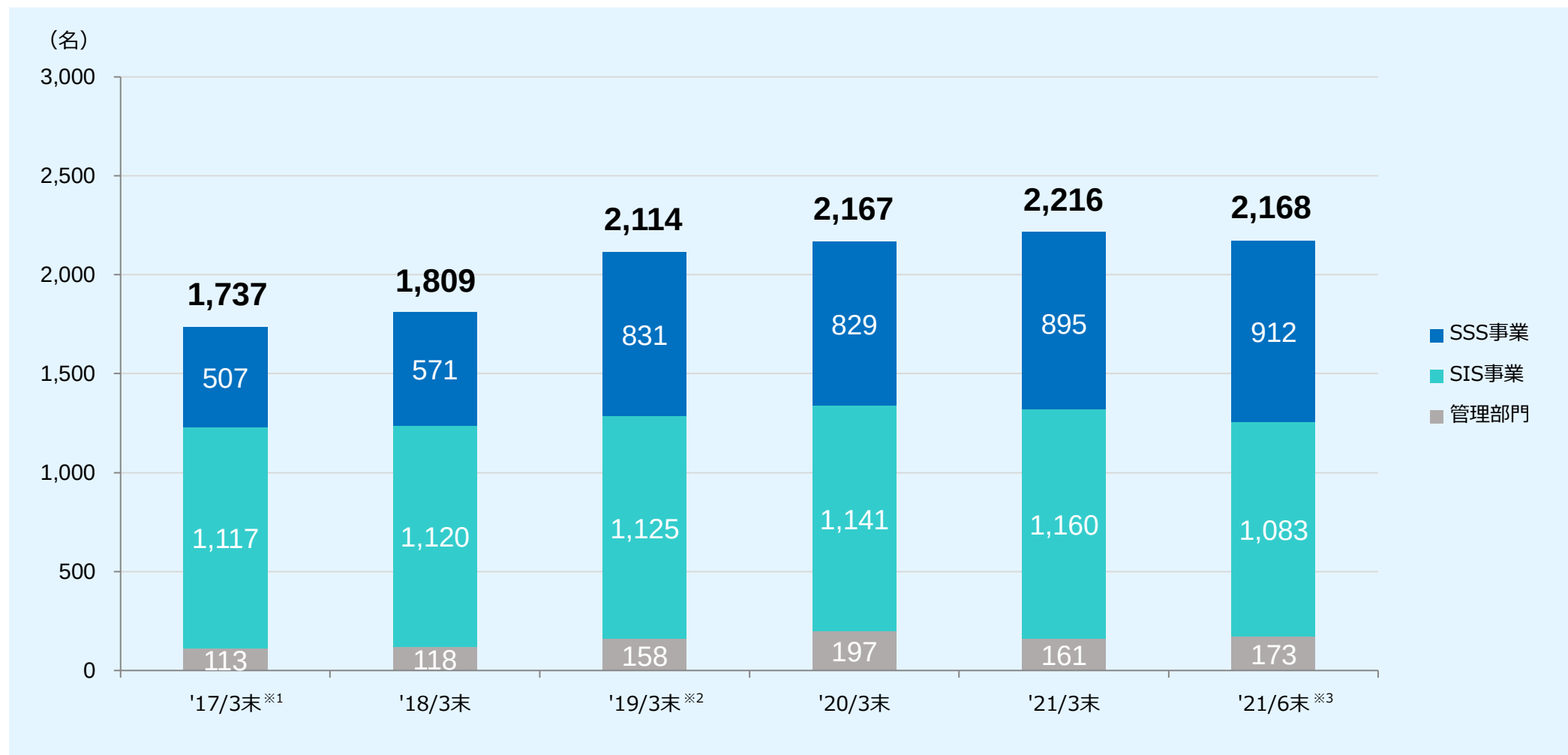


経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



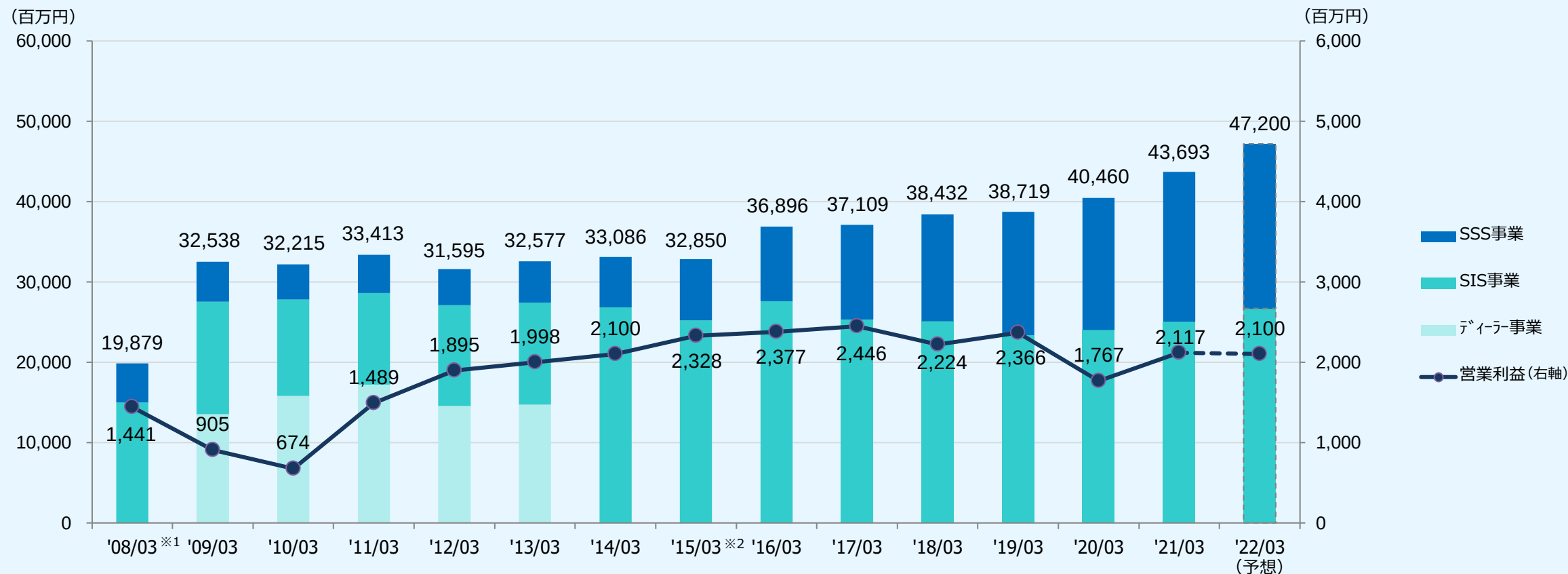


※1 2018年3月期より、定年再雇用の増加や契約の長期化などを鑑み、契約社員を含めた基準に変更しています。加えて、主に管理部門において、関連する業務に沿った事業区分に見直しています。なお、SSS、SISの両事業に携わる従業員について、稼動状況を踏まえた区分としております。2017年3月末の人員数は同基準により遡及して算出しています。

※2 2019年3月期以降のSSS事業における連結従業員数は、2018年4月2日に子会社化した(株)アジアリンク（現 (株)ラックサイバーリンク）の従業員が含まれています。

※3 2021年6月28日にアイ・ネット・リリー・コーポレーション(株)の全株式を売却し、連結の範囲から除外していることから、同社の従業員数も除外しています。

連結業績推移（セグメント別）



※1 旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日～'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映していますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績（売上高2,019百万円、営業利益329百万円）を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しています。

※2 事業セグメントの変更は'15年3月期からですが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた場合の想定実績で記載しています。

事業トピックス



全社員を対象としたテレワーク体制を継続 支援金を継続支給するとともに、新型コロナワクチンの職域接種を推進

企業レジリエンス(復元力)の一環として、新型コロナウイルス感染症の対応では、前期に引き続き、全社員を対象としたテレワーク（在宅勤務）を実施。

また、宣言後に出社対応を余儀なくされる社員や契約企業先で勤務する社員もあり、勤務様式に合わせた対応として、毎月の支援金の支給により支援を継続。

さらに、発症の予防等のため新型コロナワクチンの職域接種を積極的に推進。

支援金の支給

支給金額	月額4,000円
対象	在宅勤務支援金 週3日以上在宅勤務者で所定の条件を満たした場合
	客先常駐支援金 主としてお客先に常駐勤務する場合
	出社対応支援金 週3日以上出社対応業務に従事しており、在宅勤務をすることができない場合
支給期間	2020年8月1日～継続

新型コロナワクチンの職域接種

対象	ラックグループ全社員（出向者含む）
	社員の同居家族 （接種時年齢18歳以上 扶養外含む）
実施期間	2021年6月末～

「AeyeScan（エーアイスキャン）」とラックの専門的知見を組み合わせ 短期化する開発サイクルに適応した、迅速かつ高品質なセキュリティ診断モデルの構築

セキュリティ診断には、自動化できる部分と、エンジニアが手作業する必要がある部分があり、エーアイセキュリティラボが開発した「AeyeScan」にラックが性能評価や要件追加などを行い、時間、費用、品質の課題を同時に解決することを目指す。

ラック

サイバーセキュリティでの豊富な経験と
ノウハウを有する専門的知見

(株)エーアイセキュリティラボ

SaaS型Webアプリケーション脆弱性診断ツール
「AeyeScan」

診断ツールの性能評価や、最新のセキュリティ診断に必要な要件の追加、対策の実施など



診断品質の基準を明確にするグローバルなWebアプリケーションのセキュリティ要件への適合など



新しいセキュリティ診断サービスのモデル構築

「ラックセキュリティアカデミー」の情報セキュリティ講座を ドコモgaccoのMOOC※（大規模公開オンライン講座）プラットフォームで提供

ITリテラシーを強化する必要がある一般社員から、情報セキュリティ担当者が端末をハンズオンで学ぶホワイトハッカー養成講座まで広いラインナップを用意。まずは全てのビジネスパーソンに必要な情報セキュリティ基礎講座から提供開始。



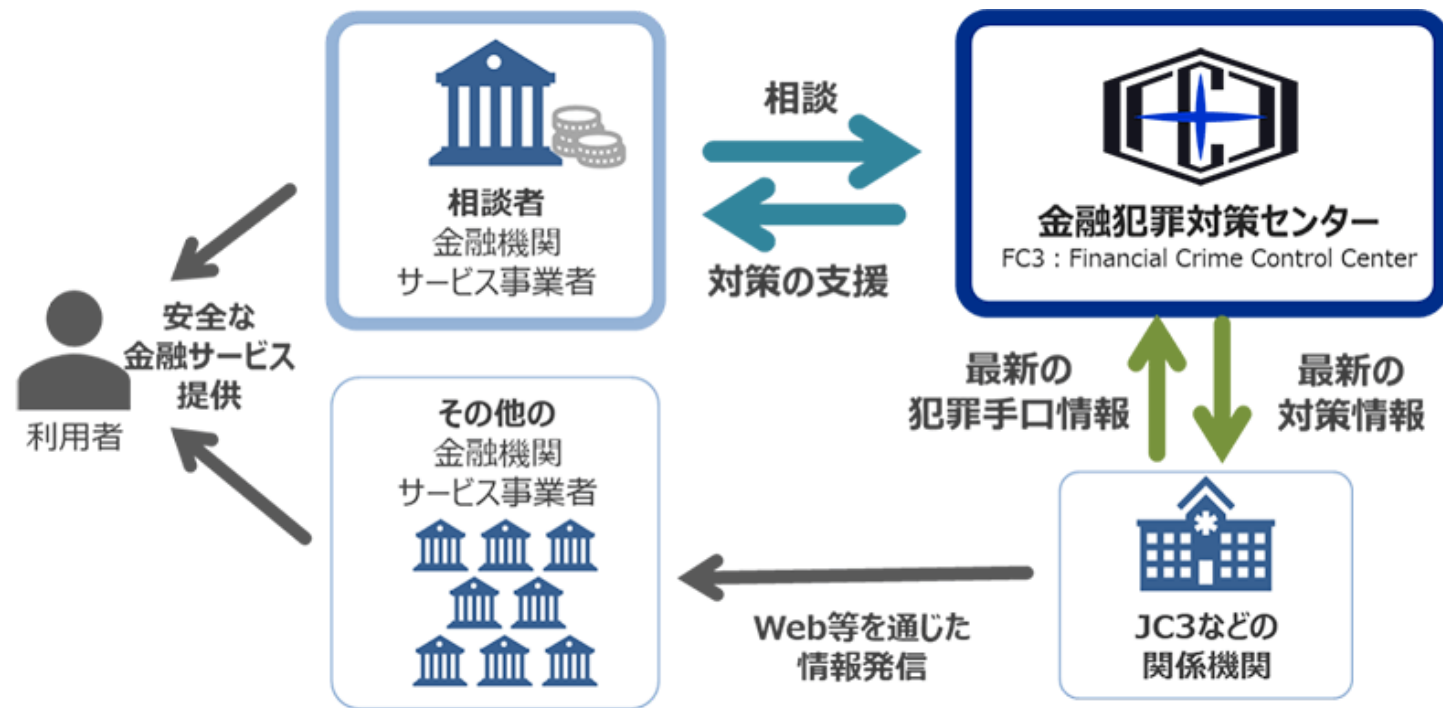
※MOOCはMassive Open Online Coursesの略称で、「大規模公開オンライン講座」と訳されます。

フィッシング詐欺、インターネットバンキング不正送金被害などを未然に防ぐ知見を金融機関に提供

ラックの高度なサイバーセキュリティ技術と、多くの金融機関や捜査機関とともに犯罪対策を行ってきた知見を融合し、巧妙化が進む犯罪手口への最適な対策を提供。

主な取り組み

1. 金融犯罪対策に有効なソリューションの検証、および最先端ソリューションの研究・開発
2. 最先端ソリューションの導入支援とコンサルティング
3. デジタル金融サービス事業者・学術機関・サイバー犯罪対策組織との連携
4. デジタル金融サービス事業者や利用者に対する啓発活動



最先端のAI技術を用いたセキュリティ技術を用い、金融犯罪の兆候を自動的に発見し、犯行を未然に防ぐための様々な研究開発も行っていく予定。

デジタルの安全な利活用推進を進める「town構想」の一環として、 各種先端サービスの安心・安全を担うセキュリティプラットフォームの実証実験を推進

医師による診断を支援するAIエンジンの共同研究

山口大学、山口総合健診センターとともに、地域における健康診断データをクラウドプラットフォーム上で管理し、医師による診断を支援するAIエンジンを開発する共同研究を開始。（2021年5月発表）

IoTセンサーネットワークによる地域課題解決の検証

長崎県長与町、長崎県立大学と、長与町における河川監視など各種センサーを設置し、地域社会の活性化やサービス向上に活用するプラットフォームの実証実験、地域のIoTセンサーネットワークの運用モデルの策定に向けた検証を開始。（2021年5月発表）

ロボットと共生する街づくり実現に向けた共同事業

福島県南相馬市、(株)リビングロボットと提携して、ロボットと人が共に生きる「パートナー・ロボット・プラットフォーム」の実現を目指した共同事業を開始。
（2021年6月発表）

「姫島ITアイランド構想推進」の参画

大分県、姫島村と「姫島ITアイランド構想推進」に参画。各種センサーを島内に設置し、地域社会の活性化やサービス向上に活用するプラットフォームの実証実験、小規模自治体でのスマートシティ化モデル策定のための検証を開始。
（2021年7月発表）

他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと 独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供

安心・安全なサイバー空間への貢献

SSS

セキュリティソリューションサービス

24時間365日、リアルタイムで監視する国内最大級のセキュリティ監視センターを軸に、大手企業や官公庁向けに総合的なセキュリティ対策サービスを提供しています。

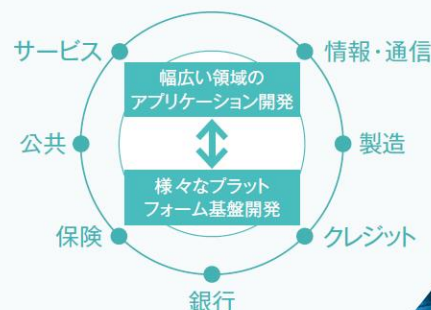


ITによる豊かな社会への貢献

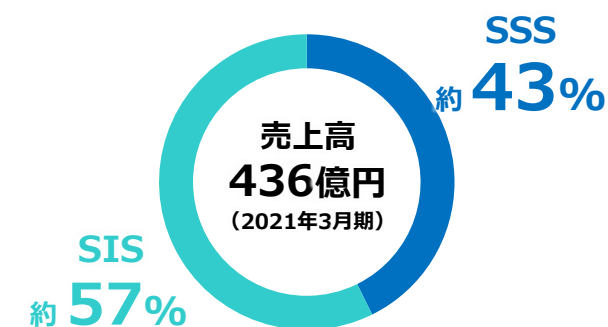
SIS

システムインテグレーションサービス

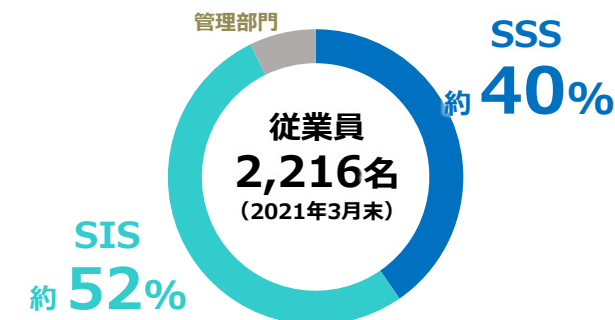
大手金融機関向け基盤システム開発のノウハウを強みに、幅広い業種のお客様へアプリケーションから基盤まで一貫したSIサービスを提供しています。



売上高構成比



人員構成比



(2021年8月1日時点)

会 社 名	株式会社ラック		
住 所	東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー		
設 立	2007年10月1日 (前身となる旧ラックは1986年に設立)		
代 表 者	代表取締役社長 西本 逸郎		
資 本 金	10億円		
業 績	売上高 436億円 営業利益 21億円 (2021年3月期)		
従業員数	連結 2,216名 単体 1,596名 (2021年3月31日現在)		
拠 点	東陽町オフィス (東京都) 福岡オフィス (福岡県)	ラックテクノセンター秋葉原 (東京都) ラックテクノセンター北九州 (福岡県)	名古屋オフィス (愛知県) シンガポール支店 (シンガポール)
関係会社	セキュリティ 株式会社ラックサイバーリンク (東京都) KDDIデジタルセキュリティ株式会社※ (東京都) ※持分法適用会社 SIサービス 株式会社ソフトウェアサービス (東京都) 株式会社アクシス (福島県) 株式会社ジャパン・カレント (東京都)		
上場市場	東京証券取引所 JASDAQ スタダード 証券コード 3857		



※本資料は2021年8月5日時点の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。

※この配付資料に記載されている業績目標、将来の見通しなどの記述はいずれも、当社グループが作成時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは経済情勢や社会動向等の様々な経営環境の変化によって、直接・間接に影響を受けるものであり、実際の業績、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。

※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。